

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	体づくり運動	4	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 体づくり運動 短距離走・長距離走	＜知識＞体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができる。 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わうことができる。 ＜技能＞ 滑らかな動きで速く走ることやペースを守って走ることができる。基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができる。	自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ろうとしている。
4 5	陸上競技	7	①短距離走・リレー ②運動会種目	＜知識＞ それぞれの競技の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できる。 ＜技能＞ ①短距離走・リレーでは合理的なフォームを身につけたり、バトンの受け渡して次走者のスピードを十分高めたりして、個人やリレーのタイムを短縮したり、競争したりできる。	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや健康・安全に気を配ろうとしている。
5 6	体育理論 保健	5	体育Ⅰ-1スポーツの始まりと発展 1-1健康の成り立ち 2-1体の発育・発達 2-2呼吸器・循環器の発達 2-3生殖機能の成熟	体育:運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生み出され発展してきたことを理解する。 保健:個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けようとする ことができる。	体育:運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 保健:健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	体育:運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。 保健:生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
6	陸上競技 体力テスト	10	①運動会練習 ②走り幅跳び ③体力テスト	＜知識＞ それぞれの競技の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できる。 ＜技能＞ ②走り幅跳びでは、助走のスピードを生かして素早く踏み切り、より遠くへ跳んだり、競争したりできる。	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや健康・安全に気を配ろうとしている。
6 7	水泳	8	①クロール ②平泳ぎ	＜知識＞ 水泳の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解することができる。 ＜技能＞ ①クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ②平泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 帰路気宇の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができる。	泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや水の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ろうとしている。
6 7	バレーボール	7	バレーボール	＜知識＞ 球技の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できている。 ＜技能＞ ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや健康・安全に気を配ろうとしている。
			I 学期 評価方法・評価場面 A おおむね 80%以上 B おおむね 50%以上	測定記録、学習カード、スキルテスト、定期テスト、提出物、授業中の取り組み	学習カード、単元のまとめ、定期テスト、授業中の取り組み	準備・片付けへの協力、話し合い活動への参加、課題の提出、授業中の取り組み

9 10	器械運動	6	マット運動	<知識> 器械運動の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できている。 <技能> マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。	技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや健康・安全に気を配ることができる。
	球技	6	卓球	<知識> 球技の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できている。 <技能> ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとする、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや健康・安全に気を配ろうとしている。
10 11	球技	8	バドミントン	<知識> 球技の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できている。 <技能> ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとする、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや健康・安全に気を配ろうとしている。
		8	ソフトボール	<知識> 球技の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できている。 <技能> 基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。基本的な技能や仲間との連携した動きでゲームを展開することができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとする、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや健康・安全に気を配ろうとしている。
10 11 12	体育理論 保健	6	体理1-2:スポーツへの多様な関わり方 保健1-2運動と健康 1-3食生活と健康 2-4性とう向き合うか 2-5心の発達(1) 2-6心の発達(2)	体理:運動やスポーツは、行うこと、見ること、支えること及び知ることなどの多様な関わり方があることを理解する。 保健:個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けようすることができる。	体理:運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 保健:健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	体理:運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取組むことができる。 保健:生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
12	陸上競技	6	長距離走	<知識> 長距離走の特性や成り立ち、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することができる。 <技能> 長距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走りとおし、タイムを短縮したり、競争したりできる。	動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ろうとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	測定記録、学習カード、スキルテスト、定期テスト、提出物、授業中の取り組み	学習カード、単元のまとめ、定期テスト、授業中の取り組み	準備・片付けへの協力、話し合い活動への参加、課題の提出、授業中の取り組み

1	武道	7	柔道	<知識> 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技能の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解できている。 <技能> 相手の動きに応じて行う姿勢と組み方、身体動作、崩しと体さばき及び受け身などの基本動作ができる。受け身は、横受け身、後ろ受け身、前回り受け身の基本的な動きができる。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができる。
2 3	球技	8	サッカー	<知識> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解することができる。 <技能> ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。音的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、お互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとしている。
	ダンス	7	ダンス	<知識> 感じを込めて踊ったりみんなて踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができる。 <技能> 創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。	表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
1 2 3	体育理論 保健分野	5	体理3:スポーツの多様な楽しみ方 保健1-4:休養・睡眠と健康 1-5:調和のとれた生活 2-7:自己形成 2-8:欲求不満やストレスへの対処	体理:世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを理解する。 保健:個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けようすることができる。	体理:運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 保健:健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	体理:運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。 保健:生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	測定記録、学習カード、スキルテスト、定期テスト、提出物、授業中の取り組み	学習カード、単元のまとめ、定期テスト、授業中の取り組み	準備・片付けへの協力、話し合い活動への参加、課題の提出、授業中の取り組み